理事研修会を開催しました（6/15～17）

今年度の理事会は時期をずらして6月に開催いたしました。行先は新潟県です。まず1日目は新幹線で新潟まで行き、そのままジェットフォイルで佐渡島へ。約1時間で到着。金山やトキの森公園をまわり、ホテルへ。毎年パルシステム主催の「文弥人形」を講演していただいている野浦の皆さんに「春駒（はりこま）」を披露していただきました。みんなで「佐渡おけさ」を踊ったり、楽しい交流となりました。

トキの森公園

文弥人形の
春駒（はりこま）

2日目は佐渡から新潟へ。協同組合新潟ときめき生協を訪ね、生産者の方も合流して、ご説明いただきました。そしてパルシステムの「つ・む・ぐ」でお馴染みの(株)諏訪田製作所へ。ガラス越しに職人さんの作る様子を見ることができます。人気のつめ切りを皆さんお土産に買っていました。（有）まきばは、JASMEQの帳合で、パルシステムに何品もコロッケや肉詰めいなりが採用されています。社長のお話しの後、工場見学と試食をさせていただきました。

新潟ときめき生協
瀬野理事長のご挨拶

（有） まきば

（株）諏訪田製作所

3日目はお天気も良く、八海山にロープウェーで登りました。展望台からの眺めは最高でした。「魚沼の里」では雪室見学ができず残念でした。昼食は近くの八海生そばの「宮野屋」で。隣に八海山尊神社もありお参りしました。
「雲洞庵」は、室町時代に上杉憲実公によって建立されました。参道の石畳には一石一字ずつ法華経が埋められていて、「雲洞庵の土踏んだか」と、踏みしめるとご利益がありと言われています。
今回の理事研修会は、佐渡から南魚沼への強行軍でしたが、見学した工場では最先端の取り組みを学ぶことができ、中身の濃い研修会となりました。

八海山

雲洞庵

協同組合 JASMEQ

第２１号

発行日　2018／7／20

〒169-0072
東京都新宿区大久保2－3－4
出光新宿ビル 4F
Tel :03-6205-6677
Fax:03-6457-6759
最寄駅
副都心線　東新宿駅より徒歩5分
〃　　西早稲田駅より徒歩5分
発行責任者
専務理事
田中　久夫

理事会から （第14期）

第4回（2018年5月17日開催）
議案なし
財務状況、商品供給事業、品質・衛生管理サポート事業、一般業務等について、各担当から報告いたしました。

懇親会は「ひまわり」にて

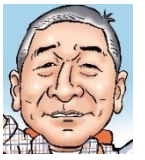
第5回（2018年7月19日開催）
第1号議案　平成30年度東京都中小企業団体中央会会長表彰候補者推薦の件

財務状況、商品供給事業、品質・衛生管理サポート事業、一般業務等について、各担当から報告いたしました。

◆次回第14期第6回の理事会は、2018年9月6日開催予定です。

第9回JASMEQ
商品事故削減会議を開催しました

監物


中村

■　日時：2018年7月9日（月）15：00～17：10　　交流懇親会　17：30～
■　会場：パルシステム連合会本部　2階第1議室（新宿区大久保2－2－6）
■　参加：49団体　62名　（交流懇親会参加　42名）

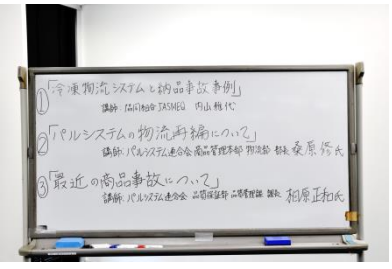
今回は、パルシステム連合会品質保証部ならびに物流部の、全面的な協力支援をいただき、「物流納品事故」削減をテーマの一つとしての開催としました。多くの参加をいただきありがとうございました。

事情で、欠席された皆さまにおかれまして、資料等のご希望がありましたら、JASMEQ坂本まで連絡いただければお送りしますので、お知らせ下さい。

＜削減会議内容＞

①開会の挨拶
②来賓として、パルシステム連合会品質保証部長の志賀様より、
配布提供いただいた「品質保証レポート」をもとに、新年度のパルシステム品質保証部の目標、課題についての報告をしていただきました。
③JASMEQ内山より、
まず「南大沢センターの冷凍物流システム」の紹介（DVD）動画を見ていただき、引き続き、「納品事故事例と納品に関しての必須事項（お願い）」をさせていただきました。
③パルシステム連合会物流部長の桑原様より、
「パルシステムの物流再編について」と題して、現状のパルシステム物流の課題と、（新）熊谷センター建設の課題と目指す改善目標についてお話しいただきました。
④品質保証部品質管理2課課長の相原様から、
「2017年度の品質保証部まとめ」をもとに、商品事故申告の状況や一部具体例も交えてお話をいただきました。また「組合員から直接電話を受けた場合の対応について」として、具体的な対応方法についての注意事項等のお話をいただきました。
⑤最後に、JASMEQ共同購入の「衛生用品資材」のご案内と、「食品衛生法改訂に伴う、ご案内アンケート」のお願いをして、閉会とさせていただきました。

参加の皆さま、また、協力いただきましたパルシステム連合会様に厚く御礼申し上げると同時に、特に「物流納品事故」は、正常品でありながら再納品になったり、返品＝欠品は発生しますので、これを機会に再確認していただければと、お願い致します。



■「におい体験トレーニング」を開催します

日時：2018年7月26日（木）13：40～16:40
開催場所：JASMEQ事務所出光新宿ビル　3階会議室
＜内容＞　①ガイダンス「異臭苦情の対応・対策のポイント」
②「臭い体験トレーニング」
※人によって匂いの感じ方の違いを、実体験していただきます。
募集は〆切ましたが、今後の継続していきたいテーマだと考えていますので、注目下さい。

謹んでご冥福をお祈りします

ＪＡＳＭＥＱ設立から関わっていただきました、河村博文氏（６３才）が急逝されました。
ＦＳＭＳ等の構築支援や審査員として活躍され、ＨＡＣＣＰリーダー養成講座講師として、初回以来ＪＡＳＭＥＱで活躍いただきました。

おすすめ商品の紹介

ぜひご利用下さい(^_-)-☆

内山

平飼い卵で作ったブリュレ　2個(160g)

パルシステム8月1回【食楽広場】

NON-GMOのエサを使用して育てた平飼い鶏の卵を使った洋菓子が人気の「とりたま工房」。
平飼い卵をたっぷり使用することで濃厚な味わいを引き出しています。表面はカリッ！中はトロッ！

旬のジャムさくらんぼ　150g

パルシステム8月3回【きなり】

山形県産ナポレオン種使用。酸味を生かして甘さをひかえめに仕上げました。
ひとつひとつ種を手作業で抜いています。
ゴロっとした実の食感が特徴です。

時の話題　その4

今注目の話題やキーワードについてお伝えします！

子ども食堂
こども食堂

だんだん　ブログより

東京新聞　2017/9/3より

「子ども食堂」または「こども食堂」と言われる食堂は2012年頃から始まりました。有名なところでは東京都大田区の「気まぐれ八百屋だんだん　こども食堂」や、豊島区要町の「要町あさやけ子ども食堂」があります。「子どもが1人でも安心して来られる無料もしくは低額の食堂」として、子どもに限定しているところもあれば、親や高齢者なども一緒に食事ができる、「地域のたまり場」を目指すところもあります。また、食事だけでなく、宿題をみてあげるなどの学習支援や、遊び場として、または調理を教えたりする場所もあります。

日本での子どもの貧困は6人に1人とも言われています。これは先進国の中では高い割合となっていますが、その貧困はなかなか見えづらくなっています。「給食費未払い問題」でも、本当に払えないのか払わないのかがわからないのです。「子どもの貧困」を救おうとして始めた「子ども食堂」が結果として、「貧困のレッテル」を貼られるので行かれなくなったり、本当に必要とされていない人たちに占領されてしまったりと、多くの問題を抱えています。

様々な問題を抱えながらも、メディアで取り上げられると全国に「子ども食堂」が広がっていきました。ネットワークを作ることにより、新たに始めたい人に向けた講座が開かれたり、各地でNPOなどが立ち上がったりしています。ただし開催頻度は月に1～2回程度と低いところも多く、実際にお腹をすかせている子どもには少なすぎると言えるでしょう。行政などのサポートも必要ですね。

「子ども食堂」を行政とともにサポートしているNPO法人セカンドリーグ神奈川の六角氏にお話しを伺いました。現在川崎市で始めようとしている団体は「子ども食堂」というよりは「多世代が集えるコミュニティのような食堂」を目指しているそうです。食堂を始めるにあたっては、衛生面や食物アレルギーなども心配です。JASMEQではそのようなサポートもいたしますので、ぜひご相談ください。（坂本）

早苗の営業日記　　その2

福祉クラブへの販路拡大は、3か月頒布会に「おかんの佃煮」3種が決まり、契約書を取り交わすまでになりました。今後は福祉クラブ指定の帳合先として頒布会用の商品や独自チラシ、本誌企画などを提案していく予定です。

また、添加物を全く使用せず、指定の原材料のみでつくるスポンジケーキ台の試作にもとりかかりました。2社に依頼しておりましたが、さとうファームさんのケーキ台のクオリティーが大変高く、さとうファームさんにお願いすることにいたしました。出来上がったサンプルを持参して、組合員理事さんたちに試食してもらいました。完成形ではありませんでしたが、無添加でもパサつき感がなく甘さもちょうどいいと大変好評でした。タイトなスケジュールですが、クリスマスデビューを目指して進めてまいります。完成したら、生活クラブデポー（店舗）にも展開していきたいと思っています。

ケーキ台

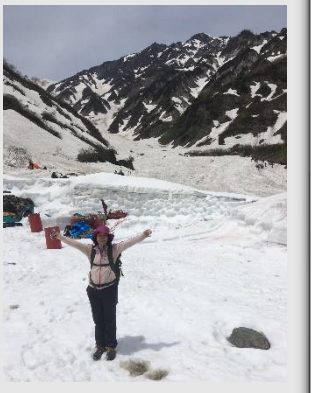
富永

編/集/後/記

ホームページ：http://jasmeq.com/
メールアドレス：m.sakamoto@jasmeq.com
TEL：03-6205-6677FAX：03-6457-6759

広報紙『JASMEQ』第21号をお届けします。ホームページもぜひご覧ください。今回の編集後記は、坂本の登山報告です。

5月26日（土）に長野県の北アルプス白馬連邦の開山祭「第52回貞逸祭」に参加いたしました。お天気にも恵まれて、過去最多の約550人が参加。「アイゼン」を準備して、途中から装着して残雪の中、白馬大雪渓まで登りました。「シラネアオイ」もきれいに咲いていて、下山後は豚汁等がふるまわれました。（坂本）

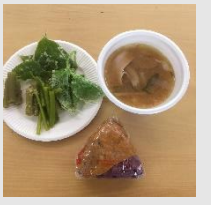


白馬大雪渓

ホルンの演奏

テープカット

シラネアオイ



ふるまい

坂本

投稿歓迎　組合員の皆さんからの原稿や写真をお待ちしております。身の回りの話題やニュース、組合員の皆さんに知らせたいこと、なんでも構いません。上記メールアドレスまでどうぞ！